

平成 30 年 9 月 5 日

上下水道事業関係者 各位

水コン協会員 各位

(公社) 全国上下水道コンサルタント協会 関西支部

支部長 北 秀 文

平成 30 年度 関水コン技術講座 (ご案内)

「下水道事業における管路マネジメントについて」

～下水道管路を対象とした総合マネジメント並びにストックマネジメントの事例紹介～

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

日頃より本協会の活動に対してご理解とご協力をいただき、深く感謝申し上げます。

この度、標記技術講座を開催することとなりましたので、別添資料の通りご案内申し上げます。

さて、下水道整備の進展に伴い全国の下水道普及率は平成 28 年度末現在において 78.3%に達し、これまでのような整備中心の時代から更新・維持の時代へと下水道事業を取り巻く環境が大きく変わりつつあります。

平成 27 年度に実施された下水道法改正では、管路施設の維持修繕基準が創設され、管路の点検の方法・頻度を事業計画に定めるなど、管路マネジメントに関する取組みの強化が求められています。

こうした状況を踏まえ、国土技術政策総合研究所では、平成 30 年度から 3 ヶ年をかけ下水道管路を対象とした総合マネジメントに関する研究に着手しており、研究では、点検調査方法の選定に関する具体的な基準やガイドラインがなく、事業主体の経験や判断に委ねられている点、また蓄積されている維持管理情報の活用方法・判断基準が確立されていない点などを踏まえています。

また、今後、下水道事業における改築更新および維持管理を進めていく中で、執行体制や財政面での制約がますます厳しくなることが予想され、施設を適切に管理し機能を維持していく役割が重要視されることとなります。

技術講座では、これらの状況を踏まえ、講師の皆さんから、新たな視点に立った下水道管路総合マネジメントの方向性や都市の状況に応じた具体的な取組み内容を紹介することで、今後のコンサル業務に繋がればと考えております。

なお、ご参加いただいた皆さまには、当協会の CPD プログラム認定書を発行いたします。

敬 具